

# 四季折々の詩

麻里布中学校  
令和7年6月2日 No.246  
TEL 22-2234 FAX 22-2235



5月は暑い日もありましたが、比較的過ごしやすい気候の中で、勉強や部活動などに集中して取り組めた月となりました。6月は梅雨に向かいますが、気持ちは晴れかに生活したいと思います。さて、本校では、学校教育目標の具現化のために、月ごとに重点キーワードを設定し、活動に意義や目的をもたせて教育活動を展開しています。4月は「まなびづくり」5月は「なかまづくり」でした。そして、6月のキーワードは、「仕事に励む」です。学校では、〇〇委員、〇〇係、〇〇場所の掃除といった一人ひとりに任された役割があります。その役割の責任を果たすことで、全校生徒が気持ちよく生活することができます。このことは、社会に目を向けても同じだと思います。商品を作る人、ものを運ぶ人、食料を作る人、職場での仕事の役割、家庭での役割など、人が集団の中で生活する上で、自分に任された役割を果たすことで住みよい社会が形成されています。学校での生活によって、社会生活がよりよいものになることを期待しています。

校長 山本敦士

## 生徒総会 「愛と勇気と麻中」

5月26日に「愛と勇気と麻中」をテーマとした生徒総会が開かれました。この生徒総会の中では、今年度の生徒会スローガン「情熱～魅せる底力～」を具現化するための、各委員会（総務・体育・図書・保健・環境・給食・放送）から年間の活動目標の承認と、「愛（思いやり）のある麻中にするための廊下の過ごし方」についての協議が行われました。



各委員会からは、「あいさつの活性化、休み時間のマナー改善」や「十分な睡眠をとり、心身ともに健康な生活を送ろう」といった活動目標と具体的な活動の提案があり、原案どおり承認されました。各委員会とも、現状に満足することなくよりよい生活を創りたいとの強い思いが込められた目標を掲げていました。

協議事項では、長年の課題となっている「廊下の過ごし方」について、愛（思いやり）に焦点をあてた話し合いが展開されました。生徒は自分事として積極的に意見交換を行い「廊下にたまっている人がいて通りにくい。」「話し声が大きい。」「来客の方に迷惑になる。」といった課題が出され、「一人ひとりが意識して行動する。」「意識を高めるためにポスターを作って掲示する。」「麻中交通法を定める。」と入った改善策の意見が出されました。今後は、生徒会執行部を中心に生徒総会で出された意見を集約し、廊下の過ごし方について実効策を提案することとなります。

閉会にあたって、学校運営協議会委員であり、地域学校協働活動推進委員である国清 宏様から「校歌の3番にある『進取の気性受けつぎて 理想と仰ぐ自治の星』にあるように前例にとらわれず、新しいことにチャレンジしようとする姿を頼もしく感じた。さらによりよい麻里布中づくりに努めてください。」とのお話がありました。

## 数学の魅力とジャグリングに心が動いたピーター・フランク氏講演会

5月26日、数学者ピーター・フランク氏の講演会が開催されました。ピーター氏は、ハンガリーのご出身で、岩国市出身で数学界のノーベル賞とも言われるフィールズ賞受賞者である広中平祐氏が始められた算数オリンピック大会の専務理事を務められています。その縁もあり、岩国市で算数・数学の魅力を伝えたいとの強い思いから開催が実現しました。講演は算数クイズともう一つの特技であるジャグリングを交えながら行われ、「人との出会いは偶然ではなく、必然であり、『袖振り合うも他生の縁』。せっかく会ったらコミュニケーションを積極的にとりましょう。



「keep your heart open」好奇心をもって、心を開いて、前向きに生きてください。森羅万象、全ては繋がっている。その繋がりを発見するのが数学の楽しさ。とお話をされました。



この度は、司会、講師紹介、謝辞、講師の誘導など、すべて生徒の手により運営されました。また、生徒に質問される場面では、積極的に発言する生徒も多く、ピーター氏は、とても楽しい時間を過ごさせていただいたと大変喜ばれていました。

## 令和7年度 学校運営協議会 開催

5月16日に標記協議会を開催しました。学校運営協議会は、保護者や地域住民の意見が学校運営に直接反映され、保護者や地域住民と学校・教育委員会とが、学校の教育目標の設定や達成に協働して責任を果たすことを目的としています。

この度の協議会では、学校運営協議会の組織の決定と令和7年度の学校運営方針の承認が主な内容となりました。はじめに、松川卓司氏が引き続き会長に就任されました。その後、校長から学校経営方針を説明し異議なく承認され、学校運営協議会委員の皆様からは、よりよい生徒の育成のために、共に活動していくと、力強いお言葉をいただきました。

